



▲B1F イベントスペース
地下はセミナー等を開催できるイベントスペース。
業務に集中するためのこもり部屋もある。

いまどき オフィス探訪

1日の大半を過ごすオフィス。せっかくならば、働きやすい環境を整えたいところ。
いまどきのオフィスを訪ね、これからのオフィス環境のあり方を探ります。

ペットと過ごす時間を大切に 週1出勤レンタルオフィス



▲1F エントランス
入居する人が自由に利用できる1Fエントランス。
冷蔵庫にはお茶やクラフトビールが並び。

株式会社 PETOKOTO

- 所在地 WEEK 四谷4階（東京都新宿区）
- 業種 ペットに関わるインターネット関連サービス
- 従業員 18名



▲在宅勤務時は、愛猫ミントも
お手伝い。

◀在宅でオンライン会議中に、
愛犬ノアが登場。

コロナ禍で働き方が変わり、家族やペットと過ごす時間が増えた人もいるだろう。ペットとの共生を大事にオフィスのあり方を変化させた企業を訪ねた。

コロナ禍でペットフレンドリーな働き方を模索

株式会社PETOKOTOは、2015年創業のスタートアップ企業。苦手だったはずがペット好きに転じた代表が、ペットの殺処分問題やペット業界のデジタル化の遅れ等を解決したいと創業。ペットにまつわるさまざまなサービスの提供や、保護犬猫マッチングサイトの運営等を行なう。

コロナ禍以前は、東京都・品川に一軒家を借り上げ、社員がペットを連れてこられるペットフレンドリーオフィスを設けていた。しかし、コロナ禍において、社員とペットの感染リスクを低減するため、働き方をフルリモートに変更。一軒家のオフィスも契約満了のタイミングで解約した。

「コロナ禍においては、自宅で仕事をするのが、社員やペットにとって心理的安全性をいちばん保てると判断しました。ただ、フルリモートを運用するなかで、リ



▲4F 共有スペース 4Fフロア中央には、プロジェクター設置の共有スペースが設けられている。週に1度のコミュニケーションデイには終日にわたり会議を複数行っている。



▲4F テラススペース 周囲に高いビルが少なく眺めがよい。カウンターも備え、コロナが落ち着いた際にはランチや懇親会で賑わいそう。



▲4F レンタルオフィススペース 壁には、アート作品が。「自社でプロダクトやWEBサイト等のデザインを行っているので、いい刺激になります」と大久保社長。

写真Ⅱ 田中祐介

モートワークは実務的なタスクでは生産性が高くて、コミュニケーションや新しい企画やアイデアを生むような作業においては、限界があることが見えてきました」(大久保泰介代表取締役社長)

そこで、感染者数が縮小傾向にあった昨年10月より週に1日シェアオフィスをレンタル。毎週水曜日をコミュニケーションデイとし、様々な会議を行なっている。

同社が利用するシェアオフィス(WEKK四谷)は、ペットの同伴は叶わなかったが、曜日単位で借りることができる。部屋単位で1フロアに4部屋あるうちの3部屋をレンタルしている。固定費を大幅に圧縮でき、契約は月単位で更新できる。人員が大きく変化するスタートアップ企業には望ましい条件だ。

「もう少し事業を成長させた際には、自社オフィスを設けたうえで、自宅やカフェでもペットと共に仕事ができるハイブリッド型の働き方を実現させたいと考えています。今後は生産性とコミュニケーションの両面を鑑みながら、リモートと出社の割合を調整していきたいです」(大久保社長)